



長野県議会議員 上伊那選挙区選出 2期目

Vol.17

Contents

- あいさつ
- 新会派結成について
- 臨時議会について
- 6月定例会について
- その他の活動について
- 次回定例会の日程 (予定)
- あとがき

# 清水まさやす 県議会報告

ブログ [まさやす日記](#)

検索



facebook.com/masayasu.shimizu



s.m@eagle.ocn.ne.jp



facebook

## ご挨拶

日頃から清水まさやすの活動に対し、ご支援・ご協力を賜り心から感謝申し上げます!

4月9日の選挙戦は大変な激戦となりましたが、皆様一人一人のご支持の大きさ・有難さを、改めて感じる結果でありました。4月30日より二期目がス

tartしてありますが、この気持ちを忘れず活動して参ります。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。m(\_ \_)m

今号は、新会派結成の話、6月定例会 (6月22日~7月7日) など、上記Contents (目次) の内容を報告

します。原稿完成から発行までに日数がかかります (最終原稿7月20日) ので、機を逸した内容もあるかもしれませんがご容赦ください。少しでも有意義な情報提供を心がけますが、最新情報は県のホームページなどでご確認ください!



## ● 新会派結成について

選挙後、これまで所属していた「**県民クラブ**・**公明**」において、**公明党**の皆さんから「**県民クラブ**と別れて単独会派を結成する」との話がありました。「**県民クラブ**」の清水はどうするか、、、このまま**県民クラブ**か?とも考えましたが、4年間、県議会議員の仕事のやり方などを見聞きする中で、**県民クラブ**としての活動に限界を感じ、正直迷っていました。

その時、同じ**県民クラブ**の仲間である小山議員から「**県民クラブ**を出て、新しい会派を作らないか?」と持ち掛けられ、会派を作るならば**交渉会派**である6人以上を目指そう!と動き始めました。

無所属であった、百瀬議員、小林あや議員に声をかけ、新人の奥村さん、グレート無茶さんにもご賛同いただき、6名となり、最終的に小池久長議員も加わり7名で新会派となりました。自民党県議団24名、改革信州13名に次ぐ**第3会派**となりました。

ここまで決まったのが選挙8日後の4月17日、19日が所属会派の届け出期限だったので、本当にバタバタでした。

### メンバー紹介・左から

- **グレート無茶** (51歳) 長野市・上水内郡
- **百瀬 智之** (40歳) 松本市・東筑摩郡
- **奥村 健仁** (57歳) 大田市
- **小山 仁志** (47歳) 佐久市・北佐久郡
- **清水 正康** (48歳) 上伊那郡
- **小林 あや** (46歳) 松本市・東筑摩郡
- **小池 久長** (62歳) 茅野市・富士見町・原村

そして、目指すことや名称などを決めながら、24日に新会派として記者会見などを行い動き出し、併せて**県民クラブ**・**公明**の片付け整理作業なども。。。変化を求めた結果、大変ではありましたが、充実した活動、経験を積ませて頂いたと思います。「新政策議員団」の政調会長として頑張ります!

2期目ですが、高揚感は4年前同様です!

**交渉会派とは?** 会派への委員会配分(人数、委員長等)を決める会議で発言ができる。また、代表質問も行うことができる。



記者会見



新政策議員団

## ● 臨時議会について

5月9日からの日程で臨時議会が開会 (11日閉会) 正副議長や委員会構成を決定。**議長**は選挙戦の末、佐々木祥二議員、**副議長**は無投票で埋橋茂人議員がそれぞれ当選。清水は、会派に一枠あてがわれ

た副委員長枠を頂き、**産業観光企業委員会**の副委員長となりました。委員長は、伊那市の酒井茂議員、委員にやはり伊那市の向山賢悟議員がいるので、上伊那率の高い委員会です。

清水の担当は・・・

- 新政策議員団 政調会長
- 産業観光企業委員会 副委員長



5月臨時会の  
広報誌 159号  
QRコード

## ● 県議会 6月定例会について

○会期日程など (土日祝除く)

- 6月21日: 団会議、予算・条例案勉強会
- 6月22日: 本会議開会
- 6月26日~30日: 一般質問
- 7月3日~5日: 委員会(総企警委員会は6日も)
- 7月7日: 本会議閉会

### [議案]

- 一般会計 211億2374万9千円の補正予算 (今年度総額1兆669億4673万3千円)
- 条例案は改正4件・事件案は17件
- 専決処分報告は23件

## ■ 補正予算案の主な内容

・物価高克服・経済構造転換のための  
総合対策の実施: 82億1875.6万円

**LPガス利用者支援:** 販売事業者を通じて1契約当たり3000円の支援

**低所得世帯の支援:** 家計負担軽減、低所得の子育て世帯を手厚く支援

**設備整備等支援:** フードバンク活動団体の設備整備の支援 など

・県民生活の安全・安心の確保: 18億2839.5万円

夜間・早朝及び休日の救急医療相談に応じる電話窓口設置 (#7119) など

・新型コロナウイルス感染症への対応: 106億1717.9万円

5類移行後、新たに入院・外来対応を行う医療機関の設備整備費等を助成

## ■ 新政策議員団からの意見書

我が団から小林議員を中心にまとめた「地域医療を担う医師の確保対策の充実を求める意見書案」を提出し、6月30日に全会一致で可決されまし

た。他の会派と異なり、国政政党に属さない我々は限られた情報となりますが、地域密着の提案ができるよう切磋琢磨をしていきます。

6月定例会の全体的な内容は、**8月6日(日)**の朝刊に折り込まれる「**長野県議会広報第160号**」もしくは右のQRコードより議会webサイトをご覧ください





●6月定例会での発言等(清水) 一般質問(全体の11番目、28日の午前登壇) ※抜粋

■未来を見据えた高校改革・再編について ※何度も質問をしている高校改革関係ですが、2期目のスタートとして、選びました。



【質問①】  
探究的な学び  
と生徒の進路  
実現との関係  
をどう評価  
しているか？

【回答：内堀教育長】探究的な学びは、未知のものに対応しながら新たな価値を創造し、個人と社会のウェルビーイングを実現する上で重要である。また、自己の在り方・生き方と一体的で、不可分な課題を自ら発見し、解決していくことを目指すものであり、高校生の進路実現と密接にかかわる。生徒が学ぶ意義を理解し、学びに向かう力を高め、深い思考や粘り強い取組につながっている。仲間と協働しながら新たな価値を創造したり、一人ひとりが自分の「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求する探究的な学びを力強く進めていく。

予測不可能な未来において、子どもたちが力強く生き抜くために、現在進んでいる高校改革・再編によって新しい学び・探究的な学びが、更に意味あるものとなるよう、多少の批判などがあっても着実に進めて欲しい!! との想いで質問。

【質問②】「高い技術力を身につけるために3年間単独学科であるべき」との声もあるが、産業人材の確保を期待する産業界は、どんな能力を重視していると捉えているか？

【回答：田中産業労働部長】昨年度行った県内企業に対する調査では、「新卒者に求める人材像」として、「人間力」や「コミュニケーション能力」、「社会への関心を持つこと」などを求める声が多く寄せられた。また、帝国データバンクの同様の調査でも、1位が「コミュニケーション能力が高い」、2位が「意欲的である」との結果だった。この背景としては、新卒者の中には「集団行動の経験が少ない」、「人と接することが苦手」といった声も聞かれており、同僚との連携やチーム力に関し、企業は組織運営の面で課題感を有している。産業界では、「人間力」や「コミュニケーション能力」、「社会への関心を持つこと」を重要視していると捉えている。

【質問③】多様な目的を持った生徒が増えるので、県の目指す個別最適な学びは実現が難しいのでは？と思うが、この理想をどう現実的に進めていくのか？

【回答：内堀教育長】探究などの新しい学びを実現するためには、教員が生徒に全てを教え、そろえる役割から、生徒の学びを支え、促す役割へと自らの意識を変えていく必要がある。教員が自ら「探究とは何か」を探究する研修などを実施している。個別最適な学びも、教員が自らの役割の転換を意識しながら進めていく必要がある。大切なことは、教員が一人一人に教えるのではなく、例えばデジタル教材によって自分のペースで学習するなど、学びの主体である生徒に学びの主導権を委ねることである。このように個別最適な学びを進めることは、働き方改革にもつながっていくと考えている。

【質問④】子どもが進路を自ら決めるためにもその想いを育む必要があり、NSDプロジェクトによる新しい学びの空間づくりは、探究的な学びや個別最適な学びを支え、旧態依然の考え方・学び方を変えるために欠かせない要素である。大きな予算が必要になるが、NSDプロジェクトに対する想いは？



【回答：阿部知事】教育のあり方、学びのあり方を大きく転換をしていかなければいけない時代になっている。これから1人1人の個性が尊重され、AIの時代で0から1を考え出す能力が人間に求められている中で、教育のあり方は根底から考え直していかなければいけない。NSDプロジェクトは、学びと空間の一体的な改革であると同時に、生徒と教員や地域の関係者がともに創り上げていく、これまでにない新しい学校作りのプロジェクトである。例えば、同じような教室が並び並んでいて、先生が教壇に立って子供たちを教えるというようなスタイルは、もう時代遅れだ。子供たちの学びの意欲が向上するような快適な空間作りが求められている。例えば伊那新校では、文理融合した学びや教科横断的な学びなどの目的に応じて空間を柔軟に変えられるフレキシブルラーニングエリアを作ってはどうか、という議論や、あるいは小諸新校においては、地域と学校を繋ぐ連携コーディネーターを配置した、地域連携協働室を作ってはどうか、といったようなことが懇話会等で議論されている。それぞれの学校ごとの議論をしっかりと踏まえ、県としての理念・思いというものも、学校の空間のあり方に具体化をしていきたい。私の立場としては必要な予算の確保も含めて、学びのあり方、空間についても、しっかりと新しい方向を示せるように取り組んでいきたい。

■委員会(産業観光企業委員会所属)での質問や提案

【観光部関係】O.国際水準の山岳観光を目指す本県では、国内外の方が安心安全で楽しめるようにしなければいけない。観光部、環境部など所管が分かれるが、部局横断で連携して登山ルートの案内看板の適正な設置や分かり易い表記をお願いしたい。

【観光部関係】Q.LPガス価格高騰対策事業は使用者に3000円を割引く事業だが、販売事業者の事務代行費が5000~10000円は経費にもならないのではないかと？

O.人手不足解消、賃金アップのために、DXを進めて生産性をあげなければならない。議会も今回からタブレットの使用を進めてきたが、産業界もさらにDXが進むようにお願いしたい。

A.(産業技術課長)：経費としては少額だが、利用者の皆さんにガス販売事業者の安心安全のサービスを再認識して頂く機会にして欲しい。



●その他の活動について(抜粋)

○街頭活動について

選挙後も頻度は減りましたが、週に2回(伊北で1回、伊南で1回)、街頭県政報告を行っています(議会で雨などでできない時もあります)。多くの皆さんに温かいご支援を頂いていること、感謝申し上げます!(気が付かないこともあります、お許してください!)



【5/20】上伊那地区障がい者スポーツ大会

【5/25】初委員会

【6/6】行政連絡会議。上伊那の県の出先機関等から本年度の説明と懇談など

【6/9】辰野町の現地調査。午前中から全17地区を回り、区長さんからも説明があり、熱意を受け取りました。



辰野町の現地調査

【6/16】南箕輪中学校で避難所運営ゲームを視察



宮田小学校で読み聞かせ

【6/19】宮田小学校で本の読み聞かせ

【6/24】唐木一直前南箕輪村長の祝賀会。祝辞をさせて頂きました。



唐木一直前南箕輪村長の祝賀会

【7/5】赤穂高校同窓会の要望活動に同行。校舎の新築を要望。  
【その他にもあちこちへ伺い、たくさんの方から様々なお話を頂き活動。感謝です!!】



赤穂高校同窓会の要望活動

●次回定例会の日程(予定)

- 9月20日：団会議、予算・議案勉強会
- 9月21日：本会議・開会
- 9月26日～29日：一般質問
- 10月2日～4日：委員会  
(総務企画警察委員会は5日も)
- 10月6日：本会議・閉会 ※土日祝日除く

あとがき

新型コロナウイルス感染症が感染法上5類になり、社会経済も大きく動き出したと感じます。マスクもしていない方も多くなりましたが、まだまだ心配の方もいらっしゃると思います。それぞれを尊重し、ゆとりをもって暮らしたい、...そんなことを思います。  
今年もあちこちを集中豪雨や猛暑が襲っています。皆様におかれましては、身を守ることを第一にお

過ごしいただくようお願いします!

【お知らせ】県議会報告は新聞折り込みを基本に配布していますが、ご住所など頂いている方には、年に一度、2月か3月にまとめて郵送しています。もし、ご希望の方がいらっしゃいましたら下記梓外事務所までご連絡をお願いします。